

会 議 録

会 議 の 名 称	第 1 回藤井寺市病院跡地活用検討委員会
開 催 日 時	令和 6 年 11 月 26 日（火） 10：00～12：00
開 催 場 所	藤井寺市役所 3 階 305 会議室
出 席 者	〔藤井寺市病院跡地活用検討委員会 委員〕 岡山委員、 地下委員、 馬場委員、 西矢委員、 森田委員、 前原委員、 東口委員、 西野委員 〔事務局〕 岡田市長、 小林副市長、 山本政策企画部長、 大家政策推進室長、 松村 FM 推進課長、 森内主幹、 脇田主幹、 山本主査 〔関係者〕 有限責任監査法人トーマツ 3 名 （順不同・敬称略）
会 議 の 議 題	（１）病院跡地活用検討について （２）今後の進め方について（意見交換）
会 議 資 料	【資料 1】第 1 回藤井寺市病院跡地活用検討委員会資料 【資料 2】藤井寺市市民病院跡地活用アンケート結果報告 【資料 3】藤井寺市病院跡地活用基本構想に係るまちづくり懇談会開催報告書 【資料 4】藤井寺市病院跡地活用基本構想策定のための市民アンケート調査結果＜速報版＞ 【資料 5】まちデザインワークショップ開催報告書＜速報版＞
会議録の作成方法	☐ 全文記録 ☒ 要点記録
記録内容の確認方法	☒ 会議の議長の確認を得ている ☐ 出席した構成員全員の確認を得ている ☐ その他（ ）
公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開
傍 聴 者 数	6 人
その他の必要事項	

	<u>1. 開会</u> <u>2. 市長あいさつ</u> ・岡田市長より、開会に際してのあいさつ <u>3. 委員委嘱</u> <u>4. 委員紹介</u> ・委員紹介 ・委員会の成立を確認 ・事務局、関係者紹介 <u>5. 委員長、副委員長選任</u> ・委員の互選により、委員長に岡山委員、副委員長に地下委員をそれぞれ選出 <u>6. 委員長・副委員長あいさつ</u> ・岡山委員長、地下副委員長よりあいさつ <u>7. 諮問</u> ・岡田市長より、委員会に対して諮問 <u>8. 会議録の作成方法、会議の公開について</u> ・会議録の作成方法を要点記録とする旨を確認し、承諾。 ・第 2 回目以降の会議においては、原則公開とし、非公開とすべき案件が出てきた際には、案件ごとに会議に諮って決定する取扱いとすることを確認し、承諾。 ・傍聴者の確認
事務局 西矢委員	<u>9. 議事</u> 【(1) 病院跡地活用検討について】 (事務局より資料に基づき説明「資料 1：目次 1～3 まで」) 道明寺地区においても独自にアンケート調査を実施したので委員の皆さんに説明させていただきたい。 (西矢委員より提供のあった道明寺地区実施のアンケート調査資料を委員・事務局・傍聴者へ配布) 今回のアンケートは 400 枚配布し、299 枚回収できた。アンケートの結果としては、まず 1 つ目に「市民病院跡地活用の望ましい方向性」に関する設問に対し「市民の暮らしを便利にするような場所」、「安心して住み続ける事ができるような場所」、「市民の健康の管理や増進を図る事ができるような場所」の意見が多かった。また、若い世代を中心に「安心して子供を産み育てる事ができるような場所」の意見が多かった。2 つ目に「市民病院跡地活用の検討にあたって留意すべきこと」に関する設問に対し「市民や団体意見の反映」、「民間利用も検討・民間の力の活用」、「災害時避難場所の確保」の意見が多かった。3 つ目に「市民病院跡地利用で一番必要と感ずること」に関する設問に対し「医療ビルに医療機関の誘致」、「支所機能と図書館」、「災害時の避難場所」の意見が多かつ

	た。4つ目に「現在の道明寺地区に一番必要と思うもの」に関する設問に対し「大雨、地震時の避難場所」の意見が多かった。また、自由意見としては「市民病院の再開、医療機関の誘致」、「子供が安心して遊べる公園、保育所、小児科が必要」、「人が集まるような施設が必要」、「病院廃止、支所廃止に対しての行政への批判」、「災害時の避難場所が必要」、「年寄りには住みにくい場所になりつつある」という意見が多かった。以上のように地元の声をお示しさせていただいた。また、アンケート資料については一度お目通しいただきたい。
西野委員	資料4および資料5については速報版としているが、これらの最終版については改めてもらえるという認識でよいか。
事務局	確定版は現在作成中である。できる限り早期に作成し公表する。第2回会議にはお持ちする。
岡山委員長	現況とニーズ把握等を踏まえると、導入すべき機能はある程度絞れてきたと思われる。
事務局	(事務局より資料に基づき説明「資料1：目次4」)
岡山委員長	「病院跡地活用の基本的な考え方(案)」についての意見交換・質疑は、次の議事の中で併せていただくこととする。
事務局	【(2) 今後の進め方について(意見交換)】 テーマ1：病院跡地活用の基本的な考え方(案)について (事務局より資料に基づき説明「資料1：目次5」)
西矢委員	先ほど説明した道明寺地区のアンケートと関連するが、道明寺地区は浸水深が高い。水害時を想定すると、防災機能としては、高さ10m以上の建物を建て、その上階に避難所を設置する必要があるのか。
岡山委員長	市全体の防災計画として、浸水ハザードについてどのような対応を行うこととなっているか。
事務局	基本的に避難所は浸水害時と地震時に分かれている。道明寺地区の浸水害時は、道明寺及び道明寺天満宮が緊急時に一時避難する場所とされている。浸水害時の避難所は基本的には浸水しない場所とされているため、今回の病院跡地については、緊急時に一時避難する場所として検討することはできるのではないかと考える。
西矢委員	避難所の考え方については理解した。実際の水害時に、水がある程度引いた後は病院跡地の施設が避難所として使えるように検討いただきたい。
岡山委員長	防災機能を充実させるという意見があった。市民アンケート調査の結果でも関心が高い部分であるため、具体的な施設計画に入った際には、防災計画の反映をお願いしたい。

前原委員	資料１の導入機能の方向性について、今後検討する導入機能として市の課題や市民ニーズを踏まえたものを挙げているが、現在ある公共施設を仮に各機能にあてていくとどのような施設や機能が該当するのか教えていただきたい。
事務局	現行の公共施設としては、医療機能は休日診療所、高齢者福祉機能は老人福祉センター（松水苑）、保育機能は保育所やこども園、コミュニティ機能は市民会館的な施設、健康増進機能は保健センターに当たると考える。防災機能はどの施設についても関係がある機能である。
前原委員	今後は、それらの公共施設機能を移転できるかどうかの確認を市の中で進めていきながら、同時に民間企業の参入可能性の調査を進めていくということか。
事務局	その通りである。
岡山委員長	導入機能の方向性として様々な提案がなされている。一方で、今回の敷地面積を踏まえると、全ての機能を導入することは難しいと思われる。多機能を目指していくとのことだが、各機能の全体のシステムの中で、どういう位置づけの施設を導入するかを検討いただきたい。例えば医療機能であれば、高度な専門施設ではなく、地域の方が気軽に健康相談できるようにして、そこで専門性の高い施設を紹介してもらう等の機能とすることを検討いただけると良いと思う。
森田委員	病院跡地は、隣に浄水場、南には幼稚園・小学校がある。幼稚園・小学校については、50年以上経っており、近い将来建て替え等を検討することになると思われることから、今慌てて病院跡地を更地にして何かを作るよりは、周辺施設も踏まえて長い目で見て検討した方が良いのではないかと考える。 また、施設機能について、例えば医療機能でいえば、現在はインターネットでの診察もできることから、医師を常駐させる必要性等についても、これまでの視点を変えて検討しても良いのではないかと考える。
岡山委員長	社会の動きや将来を見据えて、どのような機能、施設が必要か検討いただきたい。
馬場委員	最終的な答えを導き出すためのスケジュール感を教えていただきたい。
事務局	基本構想策定は来年度の早い時期を目指している。
事務局	テーマ２：民間活力導入の可能性調査について （事務局より資料に基づき説明 「資料１：参考資料（民間活用）、参考資料（他団体事例）」） 民間活力導入にあたっては、事業者からの参画が必要であり、そのためには民間事業者へのヒアリング調査を行っていく必要があると考える。
西野委員	藤井寺市の事例で、民間企業と一緒にプロジェクトを進めた整備事例はあるか。

事務局	指定管理は現在行っている。また、民間保育所の誘致も実施中である。その他は、図書館と体育館の一体的な整備を PFI で実施できないか検討を進めていた事例はあるが、実施には至っていない。
西矢委員	いかなる形で進めるとしても、公共施設の形で進めるにあたっては、災害対策も織り込んだ形で進めるのか。民間事業者が参入してきた際に災害面は担保されるのか。
事務局	基本的な考え方（案）にあるように、防災機能についても想定して進めていく。
岡山委員長	民間事業者へのヒアリング調査について、建設に関わる部分は建設事業者やデベロッパーが考えられ、運営については指定管理者やそれぞれの機能を得意分野とする運営事業者に対してヒアリングを始めていき、具体的な話を聞いた上で、どのような導入機能とすべきか今後議論させていただきたい。事務局においては、ヒアリング調査を進めていただくようお願いする。ヒアリング実施にあたっては、大手といった事業規模が大きい事業者を中心にと進めていただければと思う。
事務局	承知した。
事務局	テーマ 3：財政負担軽減策について （事務局より資料に基づき説明「資料 1：参考資料（財政負担軽減）」） 市としては都市構造再編集中支援事業による補助金を充てながら進めたいと考える。
岡山委員長	立地適正化計画は策定中という認識で良いか。
事務局	来年度中には策定予定である。
岡山委員長	今回の事業について補助金が得られる可能性があるということで理解した。
岡山委員長	本日出た意見は以下のとおりである。 ・ 防災機能について検討いただく。 ・ 地域に対して多機能な施設とすることを前提とするが、敷地条件を踏まえるとある程度機能は限定して、地域の方の行きやすい窓口になるようなものが望ましい。 ・ 利用者のターゲットを位置付けたうえで、全体のキャパシティを考えながら施設機能の優先順位を検討いただく。 ・ 事務局にて事業者へのヒアリング調査を行う。具体的な話は委員会で報告していただく。 ・ 補助金については立地適正化計画を念頭に財政負担軽減に努めていただく。
事務局	本日いただいた意見を踏まえて、まずは民間事業者へヒアリング調査を実施するとともに、公共施設の集約化・複合化に向けて関係団体等への調査も進めていく。次回会議では、ヒアリング調査結果を報告するとともに、その調査結果と基本的な考え方（案）を踏まえて、具体的な活用方針の案を提示し、その内容について議論させていただきたい。

西矢委員	本事業が着手されるまでの間、既存施設を活用できる可能性はあるか（緊急時の避難場所等）。
事務局	市民病院としても避難所指定はされていなかったことから、現実的には難しいと考える。5m 以上 10 m 未満の浸水深が想定される場所にある高さが低い施設を避難所として利用することは困難なことから、現時点では、現状の避難施設の中で対応いただくことになる。
事務局	<u>10. 閉会</u> ・会議録の公開について、事務局で会議録を作成し、委員長に確認いただいた後、市ホームページにて会議資料と併せて掲載するという形でよいかを確認し、承諾。 ・次回委員会については来年2月頃予定としているが、調査等の進行状況により前後する可能性がある。開催日については、改めて日程調整をさせていただく。